

公表

## &lt;2025年&gt; 事業所における自己評価総括表 (放課後等デイサービス)

○事業所名	ブロッサムジュニア 若葉台はるひ野教室		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 10日		2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	2025年 12月 10日		2026年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 15日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<b>&lt;未就学時期から放デイまで 長期にわたる一貫支援&gt;</b> 未就学(児発)の時期から放デイまで児童の成長に合わせて長い期間、一貫した支援を行っています。子どもの発達状況に配慮したプログラムの提供、子どもの特性を理解した適切な指導員の配置に重点をおいています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>日々のミーティングを通じて児童の小さな変化、発達状況を常に把握しています。</li> <li>個々に合わせた支援を提供できるように職員間の情報共有を徹底しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員に対し特性のある子どもの事例検証や第三者機関を利用した療育に関する様々な研修を通じて支援の質の向上を図ります。</li> </ul>
2	<b>&lt;子供たちが楽しいと思える居場所作り&gt;</b> 子ども達の意見・アイデアを積極的に取り入れ、子ども達自身が楽しく活動できるプログラムやイベントを5領域に沿って企画します。それらの機会を通じて楽しみながら子ども達自身の自主性、創造性、社会性を高められる居場所を目指しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>春・夏・冬休み期間中は必ず外へのお出かけも含むスペシャルイベントを企画します。</li> <li>日々の集団プログラムは、固定化しない様職員間で連携し立案しています。</li> <li>子どもの特性に合わせて配慮を行いながら支援しています。</li> <li>落ち着いて活動できる工作、クッキングなど創造性を育む活動を設けています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月支援プログラム立案の会議を行い、児童の特性や成長に合わせたプログラムを更に深掘りしていきます。</li> <li>子ども達から人気の「工作」「クッキング」は、新規に工作用道具・調理器具の調達を行い、子ども達自身で多様な「物」・「食」づくりができる環境を整えます。</li> </ul>
3	<b>&lt;教室運営とファシリティ&gt;</b> 年未年始期間以外、土日祝含め毎日運営できる指導員を確保しています。平日の学校/自宅への送迎対応、2つの教室に加え個別ルーム、モータールーム等を保持し1人当たり ゆったりとしたスペースを確保しております。	<ul style="list-style-type: none"> <li>2つの教室は子どもの特性やプログラム用途により柔軟に使い分けをしています。</li> <li>子ども同士の関わりを強める遊び道具、ボードゲーム等多数そろえております。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員の増員を進め指導員の子どもの担当制等を導入し、できるだけ各曜日固定できる様配置を検討していく予定です。</li> <li>現在職員不足により停止中の「個別」について早期に再開できる様併せて検討していきます。</li> </ul>

公表

## &lt;2025年&gt; 事業所における自己評価総括表 (放課後等デイサービス)

○事業所名	ブロッサムジュニア 若葉台はるひ野教室		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 10日		2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	2025年 12月 10日		2026年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 15日		

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<p><b>&lt;個別療育(指導)への対応&gt;</b> 直近1年で多くの職員が離職してしまったこともあり、現在集団療育中心となっております。個別療育(指導)を早期に再開できる土台作りを進めていく必要があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども達の特性や発達状況に合わせた「個別療育」を提供できるスタッフの確保、レベルアップが現在の課題の主な要因です。</li> <li>上記と並行して体系的に個別指導ができる教材や部屋の確保が必要です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2026年4月より正職員のスタッフを増やす計画です。</li> <li>「個別」指導ができる教室の確保、整理をします。</li> <li>担当制の導入等を行い深く・長い期間子どもと接する事で特性の理解、発達に応じた個別支援を強化します。</li> <li>スタッフのレベルアップを図るため、外部研修含めた研修強化を図ります。</li> </ul>
2	<p><b>&lt;専門的支援プログラムの提供&gt;</b> 子どもの特性に合わせた専門的支援プログラムの構築、個別又は小集団での実施の強化を進めていく必要があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員のマンパワー不足が主な要因と考えております。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2026年4月より専門性のある正社員スタッフを増やす計画です。</li> <li>増員スタッフを中心に専門的支援のPDCAを回していく予定です。支援に入る職員のスキルアップの為、「勉強会・事例研修」を増やしていきます。</li> </ul>

公表

## &lt;2025年&gt; 保護者等からの事業所評価の集計結果 (放課後等デイサービス)

事業所名	ブロッサムジュニア若葉台はるひ野教室 放課後等デイサービス
------	-------------------------------

公表日 2026年3月15日

利用児童数

26

回収数

20

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	3	0	1	人数が多めの場合には若干狭いのではと思うことがあります。十分確保されていると思います。	集団活動ができる大きさの部屋を2つ備えており、身体を動かす活動も行っております。また、施設見学や活動見学もお受けしますので、ぜひ、一度お越しください。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	11	3	1	5	今年は、退職者の方が多い印象を受けました。普段、行く機会がないのでどのようになっているか把握していない	2025年度は年度途中の離職者が多くあり、大変ご心配をおかけし申し訳ございませんでした。来年度に向けスタッフ(指導員)の安定化並びに増員、療育の質の向上に取り組んで参ります。職員の配置人数は活動内容や児童の人数、また発達を鑑みて、概ね3~6名程度で支援を行っております。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	0	0	3	工夫、配慮されています。	生活空間はシンプルで分かりやす構造となっております。トイレに手すりを設置するなど工夫をしております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16	1	0	3	衛生面にも配慮されています。活動に合っているのかはわからないが、半年に1度面談で行ったときは不衛生には感じない	引き続き、心地よいと感じる環境を整えて参ります。
適切 な 支	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16	4	0	0	以前のような個別指導がまた行われると助かります。色々なイベント等を計画していただき、色々な経験をさせてくれるのはとてもありがたいが、個別活動ができなくなってしまったことがとても残念	個別活動が中止となり、大変ご迷惑をかけております。引き続き、個別支援計画書の支援目標を柱として、お子様の特性に応じた支援を行って参ります。尚、個別指導は職員の体制が整い次第再開する計画をしています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17	0	1	2	ご意見無し	2025年10月に支援プログラムの一部改訂を実施致しました。落ち着いた机上で活動するワークタイムの導入、集団活動は5領域に沿って多様なプログラムを準備しております。また、昨年度同様 子ども達自身で活動を決める「自主活動」プログラムではそれぞれの児童が意見を出し、話し合いをすることにより、協調性や社会性を育てています。
	7 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	19	1	0	0	子どもの苦手な部分をとても理解してくださり、成長に繋がるようサポートいただいていると感じている	個別支援計画書更新の前には、必ず保護者様と面談をして、情報共有やアセスメントを行っております。

公表

## &lt;2025年&gt; 保護者等からの事業所評価の集計結果 (放課後等デイサービス)

事業所名	ブロッサムジュニア若葉台はるひ野教室 放課後等デイサービス
------	-------------------------------

公表日 2026年3月15日

利用児童数 26

回収数 20

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
援 の 提 供	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19	0	0	1	ご意見無し	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」に基づき、利用者様のニーズと照らし合わせながら支援内容を設定しております。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18	1	0	1	ご意見無し	支援内容やめあてを明確にしなが、引き続き、保護者さまにお伝えして参ります。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19	0	0	1	いつも色々な活動にチャレンジしており子どもも楽しんで取り組んでいます。	職員が毎月プログラム会議を行い子どもたちが楽しく積極的に活動できるプログラムを考えております。プログラムが決して固定化したり、マンネリ化しない様に工夫して準備を心がけています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	2	9	7	先生や子ども達の負担が増えるなら特に不要だと思います。	今後、地域との交流を検討して参ります。
保 護 者 へ	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17	2	0	1	問題ありません。	引き続き、保護者様に分かりやすい説明を心がけて参ります。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19	0	0	1	ご意見無し	個別支援計画書更新の時期には、計画内容と支援内容の説明を行っております。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	3	7	7	提供された記憶はない(問のいいえが選択できなかった)	今後、検討して参ります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	18	2	0	0	定期的に会話出ています。	今後もいろいろな方法で、保護者さまとコミュニケーションを深めながら共通理解を深めて参ります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	0	0	2	定期的の実施頂いています。	引き続き定期的にモニタリング・個別支援送迎時を含めた日頃のコミュニケーション及び「家族支援加算」を算定のもと、ご相談やご助言を行っております。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18	0	1	1	ご意見無し	引き続き、利用者様に寄り添いながら支援を行って参ります。

公表

## &lt;2025年&gt; 保護者等からの事業所評価の集計結果 (放課後等デイサービス)

事業所名	プロッサムジュニア若葉台はるひ野教室 放課後等デイサービス
------	-------------------------------

公表日 2026年3月15日

利用児童数 26

回収数 20

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	2	10	7	ご意見無し	今後、検討して参ります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	1	1	2	ご意見無し	適宜、家族支援加算算定のもと、相談援助をお受けすることができることをお伝えしております。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	1	0	2	ご意見無し	日頃のコミュニケーションを大切に、意思の疎通や情報伝達に努めて参ります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	19	0	0	1	ご意見無し	週に1回程度、ブログを配信しております。また、支援後のサービス提供記録では写真を添付するなどの情報発信に努めております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	0	0	2	ご意見無し	引き続き個人情報の管理強化をして参ります。
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	0	1	5	連携されていないと思っている	各種マニュアルを設置しております。また、年に複数回、避難訓練・消防訓練・感染症対策研修を実施しております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16	0	0	4	避難訓練は行われているようですが、親への引き渡しについての訓練はされていないと思う。	年に数回、火災と地震を想定した避難訓練・消防訓練を実施しております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	0	1	5	ご意見無し	今後、安全計画の周知をして参ります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	2	0	2	ご意見無し	契約時に説明しておりますが、怪我等を含む事故が発生した場合、真摯に対応して参ります。
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	18	2	0	0	いつも楽しみにしています。	利用者様に安心してご利用いただけるよう、引き続き努めて参ります。

公表

## &lt;2025年&gt; 保護者等からの事業所評価の集計結果 (放課後等デイサービス)

事業所名	ブロッサムジュニア若葉台はるひ野教室 放課後等デイサービス
------	-------------------------------

公表日 2026年3月15日

利用児童数 26

回収数 20

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
満足度	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	16	3	0	1	ご意見無し	「楽しかった。また行きたい!」と思っていただけるよう、支援内容及び支援方法の充実、物的環境及び人的環境の整備に努めて参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	17	2	1	0	ご意見無し	利用者様に満足いただけるよう、スタッフ全員、尽力して参ります。

公表

## ＜2025年＞事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス）

事業所名	ブロッサムジュニア若葉台はるひ野教室				公表日	2026年 3月 15日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題と改善していく点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11	2	定員20名で施設デザインしている為、現在の10名定員においては、十分なスペースを確保しています。集団活動においては利用児の年齢や個々の発達、プログラムの内容に応じて、2つの部屋を利用する場合があります。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	11	2	定員10名の利用に対して職員の配置は平均6名以上/日を確保しています。利用者の特性や状況に応じて適切な人員配置を必ず行うよう職員間でのコミュニケーションを毎日実施していきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	13	0	トイレに可動式の手すりを設置しております。 玄関からフラットになっております。 視覚的にわかりやすくイラスト等で提示しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	13	0	環境整備を常時進めております。 各部屋は必要最低限の物のみで、刺激が少ない環境となっております。 清掃は、当日稼働している職員全員で手分けして行っており、消毒等も実施しております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	3	個別が必要な場合は、現在モニタールーム（打合せ室）を使用しております。	個別指導を行うためにデザインした部屋（2部屋）は現在教材・おもちゃ等を保管する部屋で使用しています。ヒヤリハットを誘発してしまう恐れがあるため現在、子どもたちの使用を制限しています。室内整備を進め少なくとも1室個別の部屋へ改良していく計画をしております。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	11	2	業務改善については、朝礼・終礼時に改善に向けた話し合いをする機会を設けています。また、月初に常勤職員による連携会議を実施し業務に関する課題だし 対策のためのPDCAを実施しています。	業務改善のPDCAを回すにあたり非常勤スタッフとの情報格差が少しある点に課題があります。情報の平準化を引き続き対応していきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	1	保護者からのご意見はスタッフに周知して、必要に応じて話し合いを設けています。適宜、ご意見の改善工夫をしています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	0	朝礼・終礼、定例の月次職員会議等を通じて適宜話し合いが行われています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	10	3	現在第三者による外部評価は行っておりません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	5	法定基準に基づいて行われています。個人の目的に合わせて研修も行っています。	療育支援の継続したレベルアップは必要です。 研修時間が十分確保できていないため、集中的・定期的に研修が受けられる機会の提供と研修計画を立案していきます。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	13	0	5領域によるプログラムを作成し公開しています。	引続き定期的に支援プログラムのレビューと見直しを行っていきます。

公表

## &lt;2025年&gt; 事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス）

事業所名	ブロッサムジュニア若葉台はるひ野教室		公表日		2026年 3月 15日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題と改善していく点	
適切な支援の提供	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	13	0	保護者にアセスメントシートを事前に記入して貰い、ニーズを拾っています。	体系的に管理・分析できる様アセスメントの電子化、電子保存などDX化への取り組みも順次進め効率化していきます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	13	0	毎月、定期的にサービス提供会議を実施して利用者の最善の利益を考慮した検討をしています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	13	0	すべての児童の個別支援計画書を電子化して、いつでも確認できるようにしています。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	3	HUGのケア記録を通じて行っています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	13	0	HUGの個別支援計画書を使用して行っています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	13	0	常勤スタッフが5領域に沿って活動プログラム案を立案し、月初の職員会議メンバーでレビューし最終化しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	13	0	同じプログラムにならない為、過去の活動を確認しながら新しいプログラムを提供しています。	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	11	2	現在個別活動は停止中ですが、ワークタイムや集団活動の中でも、職員からの適切な声掛けや、子どもの発達や心身の状態に即した役割や課題を提供するなど、個々の成長を促す工夫をしていると思います。	個別指導プログラムを現在行っていない課題があります。支援スタッフの増員を行い、再開できる様していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	13	0	支援開始前に必ずスタッフ全員で確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	13	0	支援終了後、必ずスタッフ全員で確認しています。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	13	0	HUG記録を徹底し、支援の検証・改善につなげています。		
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	13	0	内部のスタッフを集めサービス提供会議等を通じて適切な見直しを行っています。		

公表

## ＜2025年＞事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス）

事業所名	ブロッサムジュニア若葉台はるひ野教室				公表日	2026年 3月 15日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題と改善していく点	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	13	0	集団活動を中心に子どもの発達や成功体験の積み重ね、自己肯定感の育成、社会経験の拡大を行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	13	0	自主活動を取り入れている。ただ、環境が伴わないようにも感じるため、環境を整えて常に自己選択できるような工夫をしています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	3	必要に応じて対応しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11	2	地域の医療機関、園訪問を通じて保育園と連携などを行える体制、人員を確保しています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	13	0	月間・年間計画などを学校から事前に貰うよう徹底しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	11	2	就学支援相談を保護者と連携して行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	11	2	必要に応じて実施しています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	7		外部交流、連携できる様検討します。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	8		外部交流、連携できる様検討します。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	7		外部交流、連携できる様検討します。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	13	0	保護者の送迎時、モニタリング、個別支援計画説明時に行っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	5		ペアトレできる人材育成に課題があるため、ペアトレなどの研修の機会を増やしていきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	13	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12	1	アセスメントをしっかりと定期的に実施しています。	

公表

## &lt;2025年&gt; 事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス）

事業所名		ブロッサムジュニア若葉台はるひ野教室		公表日		2026年 3月 15日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題と改善していく点		
保護者への説明等	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	13	0	徹底しています。			
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	13	0	徹底しています。			
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	5				
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	13	0	契約書「重要事項説明書」に入れて迅速に対応できるように努めています。			
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	13	0	ブログを週1回のペースで出しています。			
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13	0	契約書に個人情報の「誓約書」、写真掲載の確認書等を入れて対応しています。			
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13	0	HUGのサービス提供記録や個別の面談を通じて行っています。			
45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	7					
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12	1	動画を使用した内部研修やマニュアルの見直し、訓練を定期的に行っています。			
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	13	0	BCPを作成 適切に研修・訓練を行っています。災害・感染症の対応をまとめたサマリーを教室内に掲示しています。			
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	13	0		予防接種の確認リストを作成する必要があるため、今後検討していきます。		
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	12	1	アレルギーリストを作成し、事務室へ掲示しスタッフ全員が即座に把握できるようにしています。	アレルギーは保護者の自己申告で対応している アレルギーの把握はしているが、医師の指示書は把握していません。		
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12	1	消防訓練、自身災害訓練、BCP等適切な安全計画、研修、訓練を行っています。			
51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	12	1					

公表

## &lt;2025年&gt; 事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス）

事業所名	ブロッサムジュニア若葉台はるひ野教室				公表日	2026年 3月 15日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題と改善していく点	
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	13	0	スタッフ日報や月報へ記載し、データベース化し再発防止を徹底しています。		
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13	0	研修会・OJTを通じてスタッフへ徹底しています。		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	12	1	契約書や個別支援計画書に記載し徹底しています。		